Japanese Journal of Applied Psychology
1992, No. 17., 107-115

事務局だより

1. 平成3年度総会

総会では恒例により，大会委員長（永田勝彦教授）を議長として選出し，以下の決定がなされた。

(1) 平成2年度決算について

監査委員の馬場房子，田之内厚三両氏の監査を受けた決算書が事務局より提出され，承認された。

(2) 平成3年度予算案について

常任運営委員会，運営委員会において承認された後，総会で承認された。

(3) 第57回大会決算について

開催校，茨城大学より報告があった。

(4) 次期大会開催校について

白梅学園短期大学において，荻野七重教授を大会委員長として開催することが決定された。

平成3年度総会式次第

平成3年8月30日（北星学園大学第58回大会時に同校で開催）

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 報告事項
   1. 事業報告
      (1) 会員異動状況
      (2) 会費納入状況
      (3) 公開シンポジウム開催について
      (4) 機関誌発行及び編集規定について
   2. 日本学術会議心理学研連絡会報告
   3. 心理学諸学会連絡会報告
   4. 国際心理学記念基金運営委員会報告
   5. 第57回大会会計報告
   6. その他
4. 審議事項
   1. 平成2年度決算について
   2. 平成3年度予算案について
   3. 平成5年度（第60回大会開催校）について
   5. 第59回大会開催校・第60回大会開催校挨拶
   6. 閉会の辞

平成2年度決算報告

収入			支出		
項目	実行額	予算額	項目	実行額	予算額
前年度繰越金	1,137,819	1,137,819	第57回大会補助費	400,000	400,000
学会費	3,627,500	3,251,250	シンポジウム費	186.615	180,000
過年度分	459,000 (4500×102)	382,500	印刷費	1,281,778	1,650,000
			機関誌	1,242,180	1,500,000
本年度分	3,118,500 (4500×693)	2,868,750	その他	39,598	150,000
			通信費	175,038	300,000
賛助会費	50,000	30,000	機関誌	44,835	100,000
雑収入	18,000	70,000	その他	130,204	200,000
			機関誌編集費	40,000	100,000
			名簿作成積立金	300,000	200,000
			「ミニ通信」費	65,330	150,000
			さいころじすと費	69,331	60,000
			諸学会連絡会費	6,000	10,000
			交通費	130,000	200,000
			事務局費	297,344	450,000
			アルバイト費	226,789	150,000
			予備費	—	609,069
			次年度繰越金	1,605,094	—
合計	4,783,319	4,459,069	合計	4,783,319	4,459,069

以上の通り相違ありません
平成3年8月1日

監査委員　馬場房子 ㊞

監査委員　田之内厚三 ㊞

平成3年度予算原案

収入		支出	
項目	予算額	項目	予算額
前年度繰越金	1,605,094	第58回大会補助費	500,000
学会費	3,396,000	シンポジウム費	250,000
過年度分	396,000	印刷費	1,650,000
	(4500×800×0.10)	機関誌	1,500,000
本年度分	2,970,000	その他	150,000
	(4500×880×0.75)	通信費	250,000
賛助会費	30,000	機関誌	50,000
雑収入	50,000	その他	200,000
		機関誌編集費	150,000
		名簿作成積立金	400,000
		「ミニ通信」費	150,000
		さいころじすと	70,000
		諸学会間連絡会費	7,000
		交通費	200,000
		事務局費	450,000
		アルバイト費	200,000
		予備費	460,000
		繰越金	314,094
合計	5,051,094	合計	5,051,094

上記予算とは別途に平成2年度に支出済みの名簿積立金が300,000円ある

日本応用心理学会第57回大会決算報告　　1991年8月30日

収入		支出	
項目	実行額	項目	実行額
大会補助費	400,000	通信費	291,760
大会参加費	981,000	事務等印刷費	148,526
予約	560,000	論文集作成費	361,531
	(4000×140)	プログラム作成費	237,930
当日(会員)	285,000	論文集発送費	58,800
	(4000×57)	会場備品・消耗品費	310,367
(臨時)	135,000	事務消耗品費	45,190
	(4000×27)	記念品代	198,000
学生会員	1,000	謝金(シンポジスト)	290,000
	(1000× 1)	運営委員会会合費	45,875
論文集代金	950,000	アルバイト代	321,000
予約	702,500	懇親会費	409,764
	(4000×175+2500)	交通費	200,000
当日	247,500	雑費	80,358
	(4500×55)		
プログラム	2,100		
	(300×7)		
懇親会費	196,000		
	(400×49)		
広告料	158,000		
補助・協賛金	312,000		
合計	2,999,100	合計	2,999,100

上記の通り相違ありません

1991年8月26日

監査委員　中原弘之 ㊞

監査委員　大久保幸郎 ㊞

2. 常任運営委員会記録

平成３年９月24日（金）

出席者：荻野・大島・大塚・奥沢・恩田・駒崎・高嶋・高橋・長谷川・平野（中村・小野）

報告事項：①第58回大会の結果報告：８月30・31の両日，札幌の北星学園大学で開催された。②諸学会連絡会関係：今年度第２回の連絡会が，９月６日（金），６時半より実務教育出版会議室で開催された。③平成３年度公開シンポジウムについて：中村事務局長より大村委員よりの情報が披露された。④事務局報告

審議事項：①「応用心理士」（仮称）について：中村代表世話人より経過報告あり。②新入会員審査：３名の入会を承認。③次期開催日

平成３年10月25日（金）

出席者：荻野・島田・大村・奥沢・駒崎・斉藤・高橋・肥田野・平野・村井（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：寄付，広告等を含め準備を進めている。今回は論文集を大会当日に配布する予定。②平成３年度公開シンポジウムについて：11月９日（土），午後１時半から３時半まで，日本大学文理学部422番教室で開催される。テーマは「明るい中高年をめざして」。④事務局報告：公開シンポジウムのパンフレットを，都内主要新聞社，23区に送付した。

審議事項：①「応用心理士」（仮称）について：中村代表・大村両世話人より報告がなされた。②新入会員審査：７名承認　③次期開催日：

平成３年11月29日（金）

出席者：荻野・島田・大久保・大塚・大村・恩田・駒崎・斉藤・高嶋・高橋・長塚・宮本（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：１号通信は12月中旬発送の予定。論文集を大会当日配布するので，原稿の締切を６月中とする。②学術会議心研連関係　③平成３年度公開シンポジウムについて：シンポジストは加藤伸司，神作　博，柴田　博，下仲順子の４氏であった。出席者が23～24名と少なかったが，たいへん熱気のこもった，有意義なシンポジウムであった。

審議事項：①「応用心理士」（仮称）資格認定検討委員会について：世話人会の中村代表より提案のあった，大村政男（委員長），恩田　彰，正田　亘，高橋たまき，宮本美沙子，駒崎　勉，岡村一成，長谷川孫一郎，荻野七重，中村昭之各委員推薦を了承し，委員会発足の運びとなった。②新入会員審査：７名承認　③第61回大会開催校について：城西大学（駒崎勉氏）に決定。④次期開催日

平成４年１月24日（金）

出席者：荻野・島田・大久保・大塚・大村・恩田・駒崎・斉藤・高嶋・高橋・長塚・宮本（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：１号通信を12月に発送した。シンポジウムを８本（１日目４本，２日目４本）計画している。②心理学諸学会間連絡会関係：平成３年度第３回の連絡会が開催された。

審議事項：①名誉会員の大会時の諸費用について：参加費―無料（招待），懇親会―無料（招待），論文掲載料―有料なお，年会費の免除（会則），その他については従来どおり。②「応用心理士」について：情報交換を行った。「応用心理士」の資格としては，会員であること，しかるべき研究業績（学会発表，論文）があることなどを考慮したらどうか。③諸学会間連絡会の諮問に対する応用心理学会の見解：さいころじすとについて・情報誌としての内容を充実させる。場合によっては有料にしてもいいのではないか。・邦文の文献を集中管理し，情報提供のサービスを行う。・学界と一般との橋渡し的な役割を担う。②新入会員審査：４名承認　③次期開催日

平成４年３月24日（金）

出席者：荻野・大島・大久保・岡村・奥沢・駒崎・斉藤・高橋・田中・肥田野・村井（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：公開講演として「エイズの問題」を取り上げる予定である。②心理学諸学会間連絡会関係：第４回の連絡会が開催され，以下の諸点について意見の交換を行った旨報告された。

1）会長によるフリートーキング　2）連絡委員会の各学会大会へのフリーパス制　3）今後の「さいころじすと」の編集方針について　4）機関誌目次，ニュースレターの取扱について

審議事項：①平成４年度公開シンポジウムについて：1）４年度は，中村事務局長をオーガナイザーとして，駒沢大学で開催する。2）上記２つのテーマは，５年度以降のシンポジウムの候補とし，地方開催の問題と併せて今後検討していく。②「応用心理士」について：③新入会員審査：３名承認　④次期開催日

平成４年度４月24日（金）

出席者：荻野・大塚・大久保・大村・岡村・奥沢・恩田・神作・越河・駒崎・斉藤・高橋・田中・長塚・肥田野・平野・宮本・村井（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：発表申し込み件数は111件。日程は，第１日目，２日目ともに午前中に研究発表，午後にシンポジウム，小講演，公開講演会を行う予定。シンポジウムは９件を予定。原稿執筆要領を発送中。②心理学諸学会間連絡会関係：平成３年度４回連絡会の議事録が配布された。③学術会議関係：肥田野運

営委員から，文部省科学研究費が平成５年度から実験系と教育・社会系にわけて審査される予定であるという話が紹介された。④平成４年度公開シンポジウムについて：平成４年11月28日（土）に駒沢大学において，“宗教と癒し”のテーマで開催の予定。司会および話題提供者は以下のとおり。企画・司会：中村昭之（駒澤大学）話題提供者：佐々木宏幹（駒澤大学）大橋英寿（東北大学）恩田彰（東洋大学）J. クスマノ（上智大学）（順不同・敬称略）審議事項：①「応用心理士」について：②新入会員審査：24名承認　紹介者欄に，――先生，――様と記入されている場合があるが，紹介者欄の記入法について何か規準が必要なのでは。後日の議題とする。③次期開催日

平成４年度５月22日（金）

出席者：荻野・大塚・大久保・大村・岡村・奥沢・恩田・神作・越河・駒崎・斉藤・肥田野・平野・正田・宮本・村井（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：公開講演「エイズ問題」の講演者は南谷幹夫氏。②学術会議関係：行動科学研連のシンポジウム「健康と行動科学」が開催の予定。

審議事項：①入会申し込みカードの紹介者欄の件：前回懸案となった件について審議の結果，紹介者欄には紹介者の印鑑が必要となる。ただし署名は自筆かどうかは不問。なお，入会不可の場合は，紹介者にその旨連絡する。②「応用心理士」（仮称）資格認定問題について：４月24日開催の検討委員会における報告。

出席者：大村・荻野・恩田・宮本・高橋・駒崎・岡村・中村（1）日本国に５年以上居住していること。（2）応用心理学会の会員であること。（3）応用心理士の分野を以下の３分野に分ける。a，教育分野　b，医療分野　c，産業分野（4）所定の心理学関連の科目を取得していること。1，心理学以外の関連領域の履修科目の読みかえについて。2，事務経験や研修の取り扱い※資格の有効期限を決めて，５年ごとにチェックするという意見がでた。(3) の分野に分けることの是非についていくつかの疑義が提出された。しかし，この討議内容自体がまだ確定したものではないので，今後の課題とすることになった。③新入会員審査：９名承認　④次期開催日：

平成４年度６月30日（火）

出席者：荻野・島田・大塚・大久保・恩田・越河・高嶋・高橋・長塚・村井（中村・小野）

報告事項：①第59回大会準備状況：ポスター，プリントを送付。小講演についての報告と説明。②心理学諸学会間連絡会関係：議事録，プリント配布。学会大会情報等。③公開シンポジウム：東北大学の大橋先生が都合で出席できず。かわりに佐々木雄司（独協大学）先生に依頼。④「応用心理士」（仮称）資格認定問題について：検討委員会の報告。出席者：大村・荻野・恩田・宮本・駒崎・岡村・中村・正田　1.「応用心理士」を３分野に分けることについては，全体として否定的な意見が多く出された。肯定的な意見として，「分野を細分化して，本人の申請によって，分野を表記する」というもの，その他があった。2. 心理学関連分野の単位取得について。これについて以下のような３本の柱を立てる。(1) それまでの，心理学関連分野の科目の履修状況。(2) 学会に対する貢献度。イ，機関誌，またはこれに類するものに寄稿（１件以上）。ロ，応用心理学会での発表（２回以上）。(3) 実務経験（～年以上）：何を実務経験にするか，心理学以外の科目の心理学関連分野への読みかえなどについては次回に討議する。⑤事務局報告（1）名誉会員推挙の件：斉藤先生が該当するが，まだ暫く現役でご活躍いただきたいので，本人の了解を得て推挙を見合わせることにした。(2) 監査委員の件：馬場房子先生にもう一年依頼。(3) 学術情報センターの予稿集についての情報検索懇談会：事務局より出席する。

審議事項：①平成３年度決算報告，承認。交通費について，余裕がある場合には柔軟的な運用を考える。②平成４年度予算原案について：名簿作成積立金，700,000円を収入として計上し，次期名簿作成積立金として400,000円を計上。以上を修正のうえで原案了承。③来年度大会について（島田）第60回大会（平成５年度）：開催日：平成５年９月11日（土），12日（日），13日（月）開催地：鹿児島大学教育学部　大会会長：島田俊秀　パソコン通信などを利用して大いにコミュニケーションを計りたい。④新入会員審査：10名承認　⑤次期開催日：大会時の運営委員会で決定する。

3．一般活動報告・事務諸報告

1．第58回大会（平成３年８月30日，31日）北星学園大学に於て開催。盛会の内に終了。

2．「応用心理学研究」第16号が印刷でき，会員及び関係機関に送付した。（平成３年10月）

3．平成３年度公開シンポジウムを「明るい中高年をめざして」をテーマとして開催した。（平成３年11月９日，会場　日本大学文理学部）

4．第58回大会発表状況

（平成３年８月30日，31日　会場　北星学園大学大会委員長　永田勝彦教授）

個人発表　104件

大会企画公開シンポジウム　３件

講演会　　1件

5.　会員異動（前号掲載以降の分，敬称略）

新入会員（氏名，①現住所，②所属）

安藤　詳子

②名古屋大学医療技術短期大学部　看護学科
井ケ田勢津子

②(株)　ファーイーストネットワーク
石川　正人

②浜松医科大学精神神経科　精神医学教室
稲本　俊輝

②秋田経済法科大学経済学部
今林　俊一

②鹿児島大学教育学部
林　有 学

②奈良県立医科大学附属病院
岩城　衆子

②お茶の水女子大学家政学研究科児童学専攻修士課程
内山伊知郎

②静岡県立大学短期大学部
江藤千恵子

②埼玉県立越谷西養護学校
王　晋 民

②富士通（株）感性技術推進室
大 沢　光

②富士通（株）
大瀧　法子

②特別養護老人ホーム　蕨サンクチュアリ
大坪　治彦

②鹿児島大学教育学部
大脇　澄男

②中日本自動車短期大学
岡 本　昌

②福武書店
樫本三智子

②三重県立看護短期大学
片岡　大輔

②(株) 人材開発情報センター
加藤象二郎

②防衛庁航空医学実験隊
加藤　孝男

②岐阜県警察本部刑事部鑑識課科学捜査研究所
金子由賀里

②
木崎　久和

②京都府警察科学捜査研究所心理科
久保田小枝子

②コロロ ET センター
倉澤　寿之

②尚美学園短期大学
纐纈　葉月

②埼玉医科大学付属病院
上 坂　武

②(社) 雇用問題研究会　調査相談部
小島　直樹

②警視庁科学捜査研究所
込貝かつみ

②金沢大学医学部附属病院
佐藤　哲男

②国立下総療養所
島田　奈美

②日立システムエンジニアリング（株）
菅原　博嗣

②愛知県警察
鈴木　宗夫

②久保病院（精神科）
曽我　重司

②千葉大学自然科学研究科
竹ノ上ケイ子

②福井県立短期大学
田中マキ子

②山口大学医療技術短期大学部
塚本　尚子

②立教大学大学院文学研究科心理学専攻
寺田　雅英

②白梅学園短期大学
徳田　克己

②筑波大学大学院教育研究科講師
鳥 羽　 真

②早稲田大学人間科学研究科
富 田　 新

②東北大学大学院文学研究科
長澤　秀利

②岩手県警察本部（岩手大学大学院人文社会科学研究科）
永吉　道子

②川村短期大学
名取美津代

②大宮厚生病院
成定　康平

②中京大学
花沢　成一

②日本大学文理学部
萩原　朋子

②(有) 日本ふるさと塾
平岡　正寿

②筑波大学大学院修士課程教育研究科
柊崎　京子

②共栄学園短期大学
藤井美登里

②山口大学医学部附属病院
藤津　公子

②大宮厚生病院
藤森　立男

②北海道教育大学教育学部
渕上　克義

②鹿児島大学教育学部
前田小三郎

神奈川県総合リハビリテーションセンター
松田　君彦

②鹿児島大学教育学部
村松　玲美

②国立精神神経センター武蔵病院
丸山知佳子

②ウェールズ大学　スウォンジーカレッジ哲学部
余語　真夫

②同志社大学文学部心理学実験室
矢田部菜穂子

②(株) 内田洋行　知的生産性研究所
矢野　裕之

②(株) 日通総合研究所経営研究部
矢 幡　洋

②明治生命厚生事業団体力医学研究所
横 田　碧

②千葉大学看護学部
李　玉 玲

②中京大学大学院（研究生）
若林　昭雄

②日本大学文理学部
和田　全弘

②たばこ総合研究センター　たばこと塩の博物館
渡辺　裕子

②千葉大学看護学部
賛助会員
岐阜県警察本部
①〒500　岐阜市薮田1丁目1番地
②刑事部鑑識課科学捜査研究所
退会者（含む長期会費滞納者，順不同，敬称略）
坪 井　正，長田　佳久，大倉三代子，水 野　智，酒 木　保，武澤　信一，内藤みちよ，藤 野　武，林　昌 三，三田　英二，門司　三省，古川　久敬，鈴木　寿雄，川副　延生，手塚千鶴子，高橋　泰子，須藤　容治，柏木　繁男，林　忠 弘，高 塚　理，守屋　太門，佐藤　寛朗，和泉　忠俊，大沢美枝子，宮本　直美
死　去
豊原　恒男

6.　寄贈文献

学会事務局に以下のような雑誌類が寄贈されていますので御利用下さい。

―定期刊行物―

人事試験研究（日本人事試験研究センター）1992 No. 141, 142, 143
人文学研究所報（神奈川大学人文学研究所）1992 No. 28
人文研究（神奈川大学人文学会）1991, 1992 No. 111, 112, 113
慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要　1991　第32. 33号
化粧文化（ポーラ文化研究所）第25, 26号
母子保健情報（恩賜財団母子愛育会）第24, 25号
Communication（NTT）第34. 35, 36号
基礎心理学研究（日本基礎心理学会）第10巻　第1, 2号
科学警察研究所報告（科学警察研究所）「交通編」第32巻第2号，第33巻第1号 「防犯少年編」第52巻第1号
科学警察研究所年報（科学警察研究所）平成2年度
CODER NEWS LETTER（発達科学研究教育センター）vol 121, 1991 vol 22, 23 1992
指導と評価（日本教育評価研究会）1991. 12～1992. 7
放送研究と調査（NHK 放送文化研究所）1991. 11～1992. 7
テレビ・ラジオ番組視聴率調査（NHK 世論調査部）1991. 11
児童教育研究（安田女子大学児童教育学会）創刊号 1992
筑波大学心理学研究（筑波大学心理学系）第14号1992
東京学芸大学紀要（東京学芸大学紀要出版委員会）第42集　1992
発達障害研究所年報（発達障害研究所）第20号　1991
Hiroshima Forum for Psychology (Hiroshima University) vol. 14
IATSS Review（国際交通安全学会）vol. 17, No. 4 1991 vol. 18 No. 1 1992
上智大学心理学年報（上智大学心理学科）1992　第1巻
研究紀要（国立身体障害者リハビリテーションセンター）1991　第12号
名古屋大学教育学部紀要　教育学科　1991　第38巻 教育心理学　1991　第38巻
システム科学研究所紀要（早稲田大学システム科学研究所）1992　第23号
早稲田心理学年報（早稲田大学文学部心理学会）1992 第24号
産業安全研究所年報（労働省産業安全研究所）1990
日本語国際センター紀要（国際交流基金日本語国際セ

ンター）1991　第1号

世界の日本語教育（国際交流基金日本語国際センター）1991　第1号

明星大学心理学年報（明星大学心理学研究室）1992 第10号

研究調査報告書（電気通信普及財団）No. 6 1992

TAF クオータリー（電気通信普及財団）No. 25 1992

電話相談学研究（全国電話相談研究会）vol. 3 1991

発達研究（財. 発達科学研究教育センター）vol. 7 1991

スポーツ心理学研究（日本スポーツ心理学会）第18巻 第1号 1991

関係学研究（関係学研究編集委員会）第19巻 第1号 1991

chalaza（くもん子ども研究所）vol. 4, 5, 6 1992

佐賀大国文（佐賀大学教育学部国語国文学会）19 1991

玩具文化（財. 佐藤玩具文化財団）No. 9 1992

人文研究（神奈川大学人文学会）No. 110 1991

研究紀要（鹿児島女子大学）第13巻 第1号 1992

―図　書―

人間関係学（関係学研究所）1991

ストーリー・マーケティングのすすめ　油谷遵 PHP 1992

7. 公開シンポジウム

平成4年度応用心理学会公開シンポジウムを以下の要領で実施致します。後日，会員の皆様には別途ご案内致します。

タイトル「宗教と癒し」

期　日　平成4年11月28日（土）

場　所　駒澤大学

企画・司会	中村昭之	（駒澤大学）
シンポジスト	佐々木宏幹	（駒澤大学）
	佐々木雄司	（独協大学）
	恩田　彰	（東洋大学）
	J. クスマノ	（上智大学）